

「総合的な探究の時間」, 「子どもの発達と保育の授業」を紹介します。

7月15日（木）6校時, 前回に引き続き, 今回も仙台大学の柴田千賀子先生に保育実技の指導をしていただきました。今回は, 保育検定を控えている生徒達に, 赤ちゃんの抱き方や授乳, 検温の方法など教えていただきました。

授乳の際には, 初めに唇にほ乳瓶を当てて赤ちゃんに準備をさせることや, ほ乳瓶の傾け方, 検温の際には汗の拭き方とその注意点について指導していただきました。

保育人形を使つての**実技指導**でしたが, 生徒達は本当の赤ちゃんと接するように, 声かけや抱っこをしていました。



◆◆ 生徒の感想 ◆◆

…一番大事なものは, 抱っこする時もミルクをあげる時も検温する時も, 赤ちゃんをしっかり見て, 声かけ(名前を呼ぶ)をするのが良いと分かりました。…講義の時も言いましたが, 親とは違う目線でその子どもの成長を毎日感じることが出来る保育者は, すごくやりがいのある良い職業だとあらためて思いました。 【9組 高橋真愛】

…まだ子どもだから何でも手を貸してしまいたくなるけど, 自分でできることは自分でやらせてあげたりすることも大切なんだと思いました。赤ちゃんを抱いてみて, とても重くてずっと抱いているので, お母さんって大変だなあと思いました。 【10組 萩野多希人】

…私がとてもステキだと思ったのは, 私が「本当の赤ちゃんを持つのが怖い」と言っていたら, 仙台大学の柴田先生が「その分, 抱っこをした時に成長できていることが分ると, 嬉しくてしょうがない」と言ってくださったことです。とてもステキだと思いました。 【10組 葛西 青】

…柴田先生に教えてもらうまでは, 自分なりの抱き方でやっていたので, 「簡単, 軽い」と思っていたのですが, …とても難しく, 腕が疲れるほど重かったです。…ミルクをあげる時, 検温の時に共通していたことは, 赤ちゃんとのコミュニケーションを取ることでした。しっかり目を見てお世話することで, 愛情表現になるし, 赤ちゃんの異変にすぐ気づくことができると思いました。 【10組 渡邊怜生】



- ・普通科2年「教育未来デザイン類型」の学校教育系6名と幼児教育系15名が2度めの保育の授業を受けました。
- ・仙台大学の先生による授業がたくさん計画されています。

